

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
1	<p>素案P16 重点取組Ⅲのボランティア支援による子ども読書活動の推進</p> <p>1 協議会の所属団体 提案をいただいたように、各地区で事情が異なるので、公民館や保育園などを含めるか、どうかや休会などは、各地区で決め、長く活動が続く形をとった方が良いと思う。参加団体（学校など）は行う事業にもよるので、毎年見直す。</p> <p>2 委託金 毎年大きな行事はできないが、3年に1度くらいならできるという場合。7万円では講師を呼ぶことができない場合が多い。何年か決めて委託金をストックすることができないか。</p> <p>3 その他 協議会を通さずに子ども読書活動をしたい方がいるので、子ども読書活動ネットワーク運営委員会のように市が直接支援できるような事業専門団体を1つ設立するのはどうか。</p>	<p>ボランティア支援による子ども読書活動の推進</p> <p>1 協議会の所属団体 素案と同じく P21 ボランティア活動に向けた柔軟な支援体制づくりで、中学校区の子ども読書活動推進協議会の事業内容に応じた支援が行えるように検討をすすめていきます。</p> <p>2 委託金 内容や対象にもよりますが、費用がかかる事業につきましては、子ども読書活動推進フォーラム実行委員会等で行うこととしています。委託金のストックは、その性質上今後とも難しいと考えております。</p> <p>3 その他 既に、子ども読書活動ネットワーク運営委員会、子ども読書活動推進フォーラム実行委員会という組織があり、市が支援をしています。独自に読書活動推進協議会の枠外で意欲的な活動をしたい方につきましては、国の子どもゆめ基金や、市民活動ファンドの活用の推奨などを検討していきます。</p>
2	<p>財政状況が厳しいなかで文化的政策の充実には御苦労が多いことと存じます。予算の捻出から実施に至るまで複合的な対策が必要です。</p> <p>そこで素案P18 重点取組Ⅴ図書館に絞って、何点か提案します。</p> <p>1 組織体制の見直し 図書館の運営体制の記述がありませんが、日常の運営管理は、市の直営ではなく「指定管理者制度」を導入すべきではないでしょうか。限られた予算で、効率的な市民サービスを目指すためには、民間企業のアイデアを積極的に活用する必要があります。指定管理者制度の導入は、今や公的サービスの運営の検討において避けては通れません。計画書に明記すべきです。</p> <p>2 読書環境の整備・改善 (次ページ つづく)</p>	<p>1 組織体制の見直し 指定管理制度を含めた図書館運営のあり方については、図書館協議会を始め、現在検討・協議を行っており、今後、方針等を示していきたいと考えております。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
2	<p>読書環境整備で、スペースの確保の記載がありませんが、今の平塚市の図書館のスペースは狭く、利用したくなるような魅力が欠けています。</p> <p>そこで、1のように節減できた予算を活用して、施設の整備・改善を図ってはいかがでしょうか。</p> <p>例 中央図書館の1階のロビーは開館当初から有効に利用されているとは言えません。この場所は子ども室からも死角になっているので親が子ども室にいと、ロビーで子どもを遊ばせるには不安があるのではないのでしょうか。そこで、入口のドア施設を、外の通路に新たな壁を設けて移設し、今の1階のロビーは子ども室の図書受付等のスペースとし、子ども室の受付は読書スペースとして拡大してはどうでしょうか。そしてさらに予算があれば、指定管理者が市民の意見を聞きながら良質な図書購入に充ててはいかがでしょうか。</p> <p>3 まとめ</p> <p>子どもの読書離れがすすむなか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな読書環境を提供すること ・環境整備の予算を確保すること ・図書館サービスの充実を図るため指定管理者制度の導入を進めること <p>をしっかり計画に位置付けるべきだという意見を出させていただきます。</p> <p>なお、検討にあたり、P21の4 その他の新たな事業展開の検討にある海老名市の学校図書館支援センター事業だけでなく、他の先駆的な取組を積極的に研究することも提案します。</p> <p>いずれにしても、計画づくりのその先を見据えた展開の検討をお願いします。</p>	<p>2 読書環境の整備・改善</p> <p>中央図書館の1階の子ども室やロビーに関する施設の整備や改善に関しては、現在の中央図書館は、築45年を経過し、御意見のような新たな壁やドアの設置といった大規模な改修を行うには、現在の建築基準に対応するため多額の費用が予想され、かつ効果は限定的です。軽微な改修などにより同様の効果が図れるような方策と、新たな財源の確保に努めていきます。</p> <p>3 まとめ</p> <p>海老名市が学校図書館支援センター事業を民間企業に委託した取組は、県内では最も先駆的な取組と言えるため本計画で例示をしましたが、既に学校司書を全校に配置している平塚市にそのまま導入する方針が出たわけではありません。今後の利用者のニーズや展開を見据え、先駆的な取組を積極的に研究し、平塚市の実情に応じた取組の具体化を推進していきます。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
3	<p>素案P21 4 その他新たな事業展開の検討など</p> <p>例示2 海老名市の学校図書館支援センター事業が上げているが以下理由から平塚市では採用すべきではない。</p> <p>海老名市のTRCの13名の支援員による有馬図書館「学校図書館の支援センター」学校図書館業務は、平塚市における直営での学校司書に比べて大きな3つの問題点を抱えている。</p> <p>1 文部科学省でも学校長の指揮監督下にないため、学校司書とは認められていない。(2014.7.15「改正学校図書館法Q&A Q7参照」)</p> <p>2 先に導入をした練馬区でもTRCの支援員は、TRCから要求された目標を達成することばかり考えていたと聞いている。確かに成果は出るかもしれないが、教育の場でこうした取組が行われるのは大変問題である。</p> <p>3 学校図書館支援事業は、公共図書館の責務だと考えている。平塚市には公共図書館が4館もあり、司書が10数名いる中で支援業務ができる司書はいないのか。いればそうしたことは検討する必要すらないはずである。</p> <p>いずれにしろ市民の意見を聞いて慎重に検討すべきである。私は「神奈川の図書館を考えるつどい」「図書館と友の会団体連絡会」等で、平塚市内でイベント活動をしてきた。市内で活動している団体の者の意見としてしっかり聞いていただきたい。</p>	<p>例示2 海老名市の学校図書館支援センターの支援員は、文部科学省で定める学校司書ではないため、その旨は記載しました。</p> <p>平塚市には、4館の図書館に司書資格を持つ職員が16名おり、その他に司書資格を持つ多くの嘱託員がおります。既に、移動図書館や司書の派遣などで学校図書館を支援しており、今期の図書館協議会では、学校図書館と公共図書館の連携をテーマに新たな支援策なども検討しています。</p> <p>今後、広く市民の意見を伺いながら、先進都市の研究も含めて新たな学校図書館のあり方を検討いく予定です。</p>

※公開にあたり意見内容の一部は要約・修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
4	<p>子どもの読書活動を推進するためには、まず家庭が基本で大切だと思いますが、常々気になっているのは、家庭や地域による格差です。全ての子ども達がより良い読書環境の中で育つためには、やはり何より学校図書館のますますの充実と先生方の理解が不可欠です。</p> <p>司書教諭以外の教職員も積極的に学校図書館を活用する読書指導や調べ物を授業で取り入れるために専門的な研修を受け「子どもたちが自らすすんで好きな本、必要な本を手に取り、親しみ活用できるようになること」が目標ではないでしょうか。</p> <p>この目標のためにどんな図書館にしたら良いか。司書とボランティアで日々図書館を整備し、子どもたちが利用しやすい図書館をつくる。</p> <p>ボランティア活動も目標が明確であればやりがいもあり、負担感も減り、楽しく取り組むことができると思います。</p> <p>学校司書もサン・サンスタッフではなく正規で、より一層充実したいつでも利用できる図書館になってほしいです。</p> <p>そして地域の図書館との連携も強化して、学校図書館にない本を取り寄せてもらうなど、こどもたちのニーズを限りなくサポートする体制が整うことを願います。</p>	<p>1 司書教諭以外の教職員も読書指導などの専門的研修 司書教諭以外の教職員は、それぞれの職務に応じた研修を受講し、日々研鑽を行っております。</p> <p>研修の一部で学校図書館への理解や活用につながる内容の研修を実施する時間を確保するのは難しい状況ですが、司書教諭や学校司書との情報共有の機会や学校図書館のPRを充実するなど、研修以外の方法で、学校図書館への理解や活用につながる方策を検討していきます。</p> <p>2 図書ボランティアと司書との連携 計画書P21の「ボランティア活動に向けた柔軟な支援体制づくり」に記載のとおり、御提案の趣旨に沿い、図書ボランティアや司書教諭などの学校図書館関係者の意見交換の場を設け、ボランティア活動に対する負担感の軽減や楽しく取り組めるような学校図書館環境づくりを一層努めていきます。</p> <p>3 学校司書 限られた財政状況下、いつでも利用できる学校図書館を目指し、まずは、現在の日々雇用の学校司書を全43の小・中学校配置の継続を考えております。</p> <p>今後は、学校図書館の利用者である子どもたちのニーズを把握し、蔵書の充実など他の予算事業の見直しと合わせて、学校司書間の情報共有の場の充実や、学校や公共図書館の支援の充実などさらなる学校司書のサポート体制づくりを検討していきます。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
5	<p>素案P17 学校司書の雇用形態 学校司書が全小中学校に配置され、成果をあげていることは大変素晴らしいことだと思います。ですが、今後平塚市が目指してゆく「学校図書館の利用促進」「学校図書館の環境整備の推進」のためには、現在の日々雇用の職員では十分な働きが求められないのではありませんか？勤務時間ひとつとっても、教科や行事との連携のためにはもっと確保していただきたいと思います。雇用についてはぜひ充実する方向でお考えいただければと思います。</p> <p>素案P21 新たな事業展開の検討など 海老名市の民間委託の例示をされていますが、民間にたとえノウハウや実績があったとしても、学校図書館の運営はその学校の教育方針や実態が大きく関わり、ある程度長いスパンで蔵書構成等を考えていくものです。民間ではその時によって、業者が変わる可能性があり、継続性に不安があります。慎重な検討をお願いいたします。</p>	<p>学校司書の雇用形態 本市の全小・中学校の学校司書の配置を御評価いただき誠にありがとうございます。 限られた財政状況の下で、各学校の教育方針に沿った学校図書館運営を行うにあたり、まずは全校に日々雇用の雇用形態で学校司書を配置の継続をしていきます。 今後、教科や行事との連携を図るため、学校司書間の情報共有の場の充実や、学校や公共図書館のサポートの充実などの検討をすすめていきます。</p> <p>新たな事業展開の検討など 例示した海老名市の学校図書館支援センター事業は例示であり、既に全小・中学校に学校司書を配置した平塚市に、そのまま導入する方針が出たわけではありません。また、公的サービスの民間委託についても、今後、市民ニーズに応じた対応を検討していきます。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
6	<p>1 素案 P1 2、1 3 平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）体系図 リード文 修正案 読書は、広く情報にふれることで考える力を育て、豊かな感性を磨き、人と人とのコミュニケーションを築く上で、必要な表現力、想像力を育むことができる有効な手段です。 理由：現在、教育現場には貧困の影響が出てきている。これからますます顕著になることが予想される。この時代を生きる子ども達には情報を集め精査し、自分の後ろ盾にしていく力が必要であり、このことは学習指導要領にも謳われているとおりである。 県の計画に倣うと言っていたが、市独自の視点を持って平塚市で生まれて育つ子ども達を支えるための「総合計画」「奏プラン」「子ども・子育て支援事業計画」とリンクした子ども読書活動推進計画にするためにも情報についての一文を加えていただきたい。</p> <p>2 P 21 「4 その他新たな事業展開の検討など」 財政状況に応じた成果が求められるで、全校配置した学校司書に加えてコーディネーター制度を設けるという理解で良いか。 学校司書の業務や教育的役割を果たすためには専任、専門、正規での採用が本来だと考える。現在は、非正規で、しかも研修の機会が乏しく本来の学校司書の仕事が出来ない。現場の理解や利用度もまだ低いと思う。 上記の理由から学校図書館と学校司書への支援を厚くしてもらいたい。センター併設なら歓迎したい。</p> <p>3 同 例示2について 指定管理者や民間委託の導入なら、平塚市図書館協議会で紹介があった一宮市立中央図書館のケースのように行政が明確なビジョンを持っている場合なら良いが、担当者が一定期間（次ページつづく）</p>	<p>1 P1 2、1 3 平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）体系図 リード文 修正案 いただいた修正案の文案は、この計画に必要な文言であると判断し、計画書に加え、反映させていただきました。</p> <p>2 P21 「4 その他新たな事業展開の検討など」 専任・専門・正規での採用が理想だとは考えていますが、厳しい財政状況の中で、各小・中学校の教育方針に沿った学校図書館の運営を行うにあたり、まずは日々雇用で、学校司書の全校配置を継続していきます。 今後、学校図書館の蔵書の充実などの他の予算事業と合わせて、学校司書の本来の仕事の充実や教職員への理解につながる方策を、学校司書の相談や情報の場の機会の拡充などの学校司書の業務や教育的役割を一層の推進につながるコーディネート機能なども含めて方策を検討していきます。</p> <p>3 同 例示2について 今後の図書館運営については、様々な意見を伺い、サービス向上の観点から、将来の図書館のあり方と民間委託なども含め様々な検討を行っていきます。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
6	<p>で代替ビジョンの維持や市民の状況に応じた向上が見込めない場合は歓迎しない。</p> <p>文化の都たるにふさわしい図書館を維持し、子ども達の利用に際してもらいたい。</p> <p>誇れる計画の完成を期待しています。</p>	
7	<p>私は図書ボランティアとして13年位前から携わってきました。ここ数年、図書館、学校図書館ともに大きく改善されてきたと感じ、嬉しく思っています。</p> <p>それらが皆、今までの子ども読書活動推進計画に沿って行なわれていたことが、今回のパブリックコメント募集を機にわかりました。第三次計画の素案については、妊婦の読書活動推進が盛り込まれるなど、大変よくできていると思います。</p> <p>私が日頃の活動で感じている具体的な要望を述べたいと思います。</p> <p>1 学校図書館の充実</p> <p>子ども読書活動推進の要は、一にも二にも、学校図書館の蔵書とサン・サンスタッフの充実にあると思います。</p> <p>特にサン・サンスタッフは、子どもの学校図書館利用促進のためには大変重要な存在です。</p> <p>年々人数も増え、改善されてはきましたが、まだ十分とはいえないと思います。</p> <p>より一層の充実に向け、サン・サンスタッフの勤務日の増加等、待遇の改善と、蔵書の充実に力を入れていただきたいです。</p> <p>2 図書館の充実</p> <p>家庭での読書活動推進は、子ども読書活動推進を支えるものです。家庭における読書活動なしには子どもの読書活動はありえません。それらを支えるのが地域の各図書館ですから、図書館の充実は必須です。</p> <p style="text-align: right;">（次ページ続く）</p>	<p>1 学校図書館の充実</p> <p>サン・サンスタッフの勤務日等の雇用や学校図書館の蔵書の充実は、必要だと認識しておりますが、限られた財政状況下では、まずは、現在の週3日の日々雇用で学校司書の配置を継続し、今後、蔵書の充実などの他の予算事業の見直しと合わせて、学校図書館の利用促進につながる学校司書間の情報共有の場や学校や公共図書館の支援の充実などのさらなる方策の検討を行っていきます。</p> <p>2 図書館の充実</p> <p style="text-align: right;">（次ページ続く）</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
7	<p>①各図書館の開館時間の延長、月曜日開館 以前、地域の公民館は毎週月曜日休館でしたが、月曜も開館するようになり、また、開館時間も長くなって、大変便利になりました。ぜひ各図書館も月曜日の開館をご検討いただきたいです。</p> <p>また、中央図書館は開館時間が長く、非常にありがたいです。他図書館でも開館時間の延長をお願いしたいです。</p> <p>②平塚駅の近くの図書館窓口の設置 平塚駅近くでは、ひらつか市民活動センターと市の出張所の両方で図書を返却できるようになり、大変便利になりました。</p> <p>市民活動センターは、現在、市民から寄付された図書が並べられており、さながら図書館か書店のようです。（売り上げは市民活動の基金となっています。）</p> <p>そこで、ひらつか市民活動センターに図書館の窓口を設置していただきたいです。</p> <p>今はインターネットで図書館の資料の検索から予約まで24時間可能です。市民活動センターに窓口（貸出・返却のバーコードリーダー）さえあれば、返却だけでなく、予約資料の受け取りができるようになります。平塚市にない資料でも、県内の図書館にある資料なら窓口でリクエストをして借りることができます。毎日9:00から22:00まで開館しているので、市外へ通勤通学する市民でも利用しやすいと思います。以前もMNビル10Fの市の出張所に図書室がありましたが、開館時間が短く、利用するためにはエレベーターの使用が不可欠であるなど、安全面での不安もありました。市民活動センターは農協ビルの2階で立地がよく、夜間でも安心して利用できると思います。ぜひご検討いただきたいです。近隣では、川崎市中原区の武蔵小杉駅の駅ビルに図書館が入っているそうです。また、中央線武蔵境駅の駅前には武蔵野市の市立図書館（武蔵野プレイス）があると聞いています。 （次ページつづく）</p>	<p>①地区図書館の開館時間の延長、月曜日開館 地区図書館の開館時間の延長は、他でも要望が寄せられていますが、中央図書館と比較し、費用は同様にかかりますが、貸出などにおける利用増などの成果が中央図書館に比べて見込めないため、現状では行っておりません。また休館日をなくすことや月曜日以外に変更することは、現在の中央図書館と各地区図書館が一体となった図書の流通体制やシステムでは難しい状況です。</p> <p>しかし、今後の図書館運営の検討では、開館時間や休館日の見直しも併せて行っていくます。</p> <p>②平塚駅の近くの図書館窓口の設置 ひらつか市民活動センターは、市民活動やボランティア活動を支援する目的で設置された施設です。</p> <p>年末年始のみが休館で、9:00から22:00まで開館しています。御意見にあるとおり、開館時間が長いという立地からも利便性は高く、例示いただいた乗降客の多い駅のそばに図書館やサービス拠点を設置した川崎市立中原図書館や武蔵野プレイスと同様に、ここに図書館サービスの窓口を設置した場合、市外に通勤通学をする方など利用したい市民は多いと考えられます。</p> <p>しかし一方で、一定以上の専門知識を持つ職員を交代制で配置することや、新たなニーズに対応するための機器の設置などの多額のコストや、市民活動センターとの調整等の課題もあります。</p> <p>既存の図書館の職員体制やサービスの見直しと合わせて、今後検討していきます。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
7	<p>③図書のリサイクル 現在は、図書館への市民からの図書の寄付も多いと思います。各図書館や公民館の図書室などで、寄付された図書を積極的に活用していただきたいと思います。</p> <p>④各図書館での小中学校の教科書の開架 現在、小中学校の教科書は中央図書館の参考室でしか読むことができません。（参考室では、市販されている教科書は全種類開架されています。）市内の小中学校で使われている教科書だけでも、各図書館で読めるようにしていただきたいと思います。</p> <p>⑤南図書館休憩コーナーの改善 現在も南図書館の二階に休憩コーナーはありますが、椅子が低くて座りにくいので、あまり活用されていません。 テーブルと椅子を数セット置き、飲み物を飲んだり、軽食を食べたりできる、居心地のよいコーナーにしてください。 また、二階に店舗はありますが、軽食等は販売していません。パンやおにぎりなどの軽食の販売、飲み物の販売をしていただきたいと思います。</p> <p>⑥図書ボランティア用貸出カードの発行 現在、各図書館のおはなし会に参加する図書ボランティアについては、図書ボランティア用の貸出カードが個人所有のカードとは別に発行されています。 他の機関の図書ボランティアについても、図書ボランティア用の貸出カードを発行していただきたいと思います。 読み聞かせの質の向上のためには、資料の研究が不可欠ですが、現在では資料は7点までしか借りられません。図書ボランティアは、家族所有のカードを借りてやりくりしているのが現状だと考えます。ぜひご検討いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（次ページつづく）</p>	<p>③図書のリサイクル 公民館や地域の文庫などで要望の多い児童図書は、現在でも、団体向けにリサイクル本の提供の機会を設けております。その周知とさらなる活用の検討をすすめていきます。</p> <p>④各図書館での小中学校の教科書の開架 教育委員会が、広く市民に向けて小・中学校教育への理解を図る目的で、図書館に教科書を配架しております。 しかし、配架される教科書の冊数が限られており、その冊数も年々減少していることから、最も多くの市民が利用する中央図書館にて教科書の開架を行っております。今後も継続するとともに、周知を含めた目的的理解に努めていきます。</p> <p>⑤南図書館休憩コーナーの改善 南図書館の2階の休憩コーナーは、南図書館ではなく福社会館が管理しています。売店の営業時間は図書館よりもかなり短く、目的が、障がい者が働くことで生きがいを得ることであるため、作業所などで制作した商品が販売されています。テーブルは、かなり以前は、飲食もできるように設置していましたが、若者が占有してトラブルを起こした関係で、今後とも設置の予定はありません。軽食などの御利用は、1Fの休憩コーナーを御利用いただくようお願いいたします。</p> <p>⑥図書ボランティア用の貸出カードの発行 学校図書館の支援の一環で団体貸付用のカードを発行しています。他の公共機関を利用する図書ボランティア向けの貸出につきましては、そのニーズを把握し、体制づくりを検討するとともに、既存の学校図書館支援の見直しで検討してまいります。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
7	<p>3 平塚市美術館との連携</p> <p>①図書ボランティア向けのギャラリートークの実施 ー昨年夏の絵本原画展の際、図書ボランティア向けのギャラリートークの機会をもうけていただきました。 通常のギャラリートークは土曜日開催のため参加できないでおりましたが、平日だったため参加ができ、大変有意義でした。 図書ボランティア向けのギャラリートークを継続して随実施していただきたいと思います。 図書ボランティアが美術館を利用する機会が増えれば、小中学生が美術館に足を運ぶ機会もより多くなると思います。 中学生以下と65歳以上は入館料が無料ですし、高校生も土曜日は無料で入館できます。 ぜひ図書ボランティア向けのギャラリートークを実施し、貴重な財産である美術館の更なる活用につなげていただきたいです。 また、気軽に参加できるように、招待券の配布もお願いしたいです。</p> <p>②ブックスタート・ボランティア向けのギャラリートークの実施 ①の補足となりますが、今冬の特集展は赤ちゃん向けの展覧会と聞いています。 ブックスタート・ボランティア向けにもぜひギャラリートークを実施していただきたいと思います。</p> <p>4 「いのちの尊さを伝える本」の読み聞かせ 毎年、中学校区協議会宛てに、「いのちの尊さを伝える本」を各団体で何冊読んだかの報告の依頼があります。 どの本が「いのちの尊さを伝える本」であるかは非常に主観的な問題ですので、冊数を数えるのはあまり意味がないことだと思います。 私は、これまで、「いのちの尊さを伝えていない本」というものに出会ったことはありません。 (次ページつづく)</p>	<p>3 平塚市美術館との連携</p> <p>①図書ボランティア向けギャラリートークの実施 現在、平塚市美術館、平塚市博物館とともに、スタンプラリーなどの3館コラボ事業を行っており、事業の打ち合わせの場において、P20 関係機関等との多様な連携による読書活動の推進で、御提案の事業の目的に叶うような事業を図書館側から提案するなど、関係機関等との連携による読書活動の推進で図書館などの3館の来館者増や活用につながる事業を検討していきます。</p> <p>②ブックスタート・ボランティア向けのギャラリートーク 御提案のあったボランティアに対象者を限定した事業につきましても、参画のきっかけにつながることも考えられるので、さまざまな方策と合わせて検討をしていきます。</p> <p>4 いのちの尊さを伝える本の読み聞かせ 福祉総務課では、こころと命のサポート事業（自殺対策）で、本を通じた「命の大切さ、尊さ」の普及啓発を行っており、その一環として、浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会と協働で「いのちの尊さを伝える本」vol1～3のリストを作成しました。 各中学校区子ども読書推進協議会の日頃の活動において、いのちの尊さを伝える機会は少なくないと思いますが、このリストも活用していただきながら実践していただきたく、周知と紹介をしております。 また、こころと命のサポート事業は、平塚市次世代育成支援行動計画の施策の一つになっており、「いのちの尊さを伝える本」の読み聞かせの実施状況を反映させていただきたいため、皆様に活用実績の御報告の依頼をしております。引き続き、趣旨の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
7	<p>馬鹿馬鹿しいオヤジギャグのものは人生の楽しさを教えてくれますし、一見残酷な場面のある昔話でさえ先人の深い知恵が含まれているのです。再考をお願いしたいと思います。</p> <p>5 各中学校区協議会 昨年12/18の図書ボランティア情報交換会において、図書ボランティアの負担軽減のための協議会運営の簡素化について、ご説明いただきました。 協議会があることで図書ボランティアが増えていかないのでは本末転倒です。 あくまでボランティアである図書ボランティアへの負担はできるだけ避けるべきです。 ですから、このような軽減策はもっと早くから実施するべきだったと思います。 休会する協議会のメンバーのために、情報の提供の方法、子ども読書活動ネットワーク運営委員会への予算を増やすなどの対策を実施していただきたいと思います。</p> <p>6 「読み聞かせ」と「読み語り」 この素案の中では、「読み聞かせ」と「読み語り」の二つの文言が混在しています。また、通常の業務でも混在がみられます。 意味は同じだと受けとめています。 このような混同は適切ではないと考えますので、どちらかに統一していただきたいと思います。</p>	<p>5 各中学校区協議会 本計画の図書ボランティアに向けた柔軟な支援体制に御理解をいただき感謝いたします。 引き続き活動の継続ができるように、計画書P21のボランティア活動に向けた柔軟な支援体制のとおり、情報の提供の方法や、子ども読書活動ネットワーク運営委員会の活動の充実などの方策を今後ともすすめていきます。</p> <p>6 「読み聞かせ」と「読み語り」 「読み聞かせ」が広く通常の業務で使われておりますが、過去に高圧的との意見があったため、本図書館ではなるべく「読み語り」を使用していましたが、再度計画書を見直し、読み聞かせを読み語りに修正しました。しかし、第二次計画の4.1事業の具体事業で「読み聞かせ」となっている事業など、既に公式の場で「読み聞かせ」としている部分は修正せず、そのまま掲載しています。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
8	<p>重点取組Ⅰ 家庭における取組について アプローチ方法に学童期の取り組みが記されていない。 小中学校での家庭での読書活動の指導も重要なカギとなるはずだ。</p> <p>成果指標について Ⅱ地域、Ⅲボランティア、Ⅳ学校等において 事例紹介が指標となっている。 主にどのような取り組みについての前例、先例を指標につなげるのか。新たな取組について成果指標とするのか。</p> <p>第二次計画の「ぐるっとサポート」 第二次計画の『ぐるっとサポートする』のように、地域・学校・ボランティア・図書館の実施する取組が家庭全体に読書の風を流す役割を担っていくと示した方がわかりやすいのではないか。つながりが感じられない。</p>	<p>家庭における取組について ご意見の学童期へのアプローチを加えるべきと考え、素案 P15 の家庭でのアプローチ方法を修正し、学童期における取組を加えさせていただきました。</p> <p>成果指標について 素案では、重点取組ごとの成果指標の数値目標を示しておりませんが、計画書では、いただいた意見なども盛り込み、重点取組ごとの成果指標に、新たな取組を含めた数値目標を示しました。</p> <p>第二次計画の「ぐるっとサポート」 「ぐるっとサポート」は、第二次計画の具体的な41事業の関係をつながりということで説明するため示したものです。 第三次計画では、計画書 P12～13 のとおり、個々の取組事業位置付けや重点取組などとのつながりの具体化として、これまでなかった計画体系図に、「取組事業」を「重点取組」ごとの「取組施策」の中に位置付けしました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページ続く）</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
8	<p>子育て世代 子育て世代は、一昔前の専業主婦が多くいた時代と様変わりしている。女性も仕事を継続していくことが主流だ。共働きの家庭が家庭で使える時間の中から本に親しむという選択をとれるような取組をして欲しい。 平日ばかりの取組をしては、選択肢の中からも外れてしまう。事業は、週間や月間、季節など長い時間を使って提供してほしい。</p> <p>31年度の目指す姿 31年度の目指す姿に「読書のまち宣言」と謳っている。平塚市各行政組織の連携を期待したい。</p> <p>つながる力 新たな図書ボランティアの担い手を母親ばかりに目を向けてはならない。 また子育て世代の意見に耳を傾けられるような心持でいてほしい。行政の組織間、既存の団体と連携する「つながり力」を役割として担う部署があるといい。</p> <p>学校等における推進 学校は、携帯端末等に触れられない時間にきっかけを与えられる場所である。学校司書が役割を十分発揮できる場としてほしい。</p>	<p>子育て世代 図書館は、土日や祝日も本に親しむ時間を提供しております。対象を限定した取組は、対象者のニーズを考慮し、今後とも実施時期、時間など十分な検討を行っていきます。</p> <p>31年度の目指す姿 第2次計画では41の具体事業を担当課が個々に取組していましたが、計画書に謳ったように、第3次計画では、重点取組ごとの目指す姿に向けて関係各課が連携し、「読書のまち宣言」を掲げている先進市の読書活動を目指して取り組んでいきます。</p> <p>つながる力 第三次計画では関係機関等との多様な連携による読書活動の推進を新たな事業展開と位置付けました。御提案のように、これまでの関係課だけでなく、図書館側から働きかけを行い多様な連携による読書活動の推進をすすめていきます。</p> <p>学校等における推進 学校司書は既に限られた時間で各学校の教育方針に沿ってその役割を果たしています。御提案のようなさらなる学校図書館のレベルアップが目指せるように、今後も支援の充実に努めてまいります。</p> <p>(次ページ続く)</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。

平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）に対するご意見及び市の考え方について

	意見内容	対応
8	<p>学校司書 学校司書を活かしきれていない。各学校での取組を共有して、学校図書館のレベルアップを目指してほしい。</p> <p>子ども読書活動推進フォーラム 子ども読書活動推進フォーラムは、市民と協働の実行委員会形式の事業で素晴らしい。 同じ実行委員会の形態で、違った事業を実施してみてもどうか。</p> <p>子ども読書活動推進計画のイメージ 第三次素案は具体的ではあるが、イメージに乏しい。 第二次計画のライフステージでのイメージを活用してほしい。</p> <p>目指す子ども像 目指す像 「人と人との絆」に繋がっている事業は、主にどの事業でしょうか。</p> <p>中間評価 中間評価は開示されるのか。</p> <p>最後に子ども読書活動がより一層子ども達の楽しいにつながるよう期待します。</p>	<p>子ども読書活動推進フォーラム 既に、市民と協働の実行委員会形式の子ども読書活動推進フォーラム実行委員会や、子ども読書ネットワーク運営委員会といった組織がある中で、実行委員会形態の組織を設立し、事業を実施する予定はありません。</p> <p>子ども読書活動推進計画のイメージ 第二次計画では年代別の読書のはたらきかけを「ライフステージ」でイメージしていました。第三次計画では、妊産婦に向けてといった啓発を新たに行うなどの理由で、これをそのまま活用するのではなく、家庭に向けた取組のアプローチ方法でそのイメージの一部を活用しています。</p> <p>目指す子ども像 他の目指す子ども像も同じですが、計画全体として捉えておりますので、どの子ども像が主にどの事業につながっているということはありません。</p> <p>中間評価 年次報告と同様に開示する予定です。</p>

※公開にあたり意見内容の表現の一部は修正しています。